



Illustratorデータのご注意点

(文字のアウトライン化・画像の埋め込み等)

※下記の項目にご注意して頂きますと、再入稿を減らす事ができます。

① 文字のアウトライン化をして下さい。

アウトライン作成しないと別のパソコンで開いた時に初期設定されているフォントや、近いタイプのフォントに置き換わってしまいます。

そこで、イラストレーターの「**アウトライン作成**」という機能を使って、テキストデータを図形化 (パス化) します。

そうする事で別のパソコンで開いてもそのままの形で表示することができます。

アウトライン化されていない文字

アウトライン

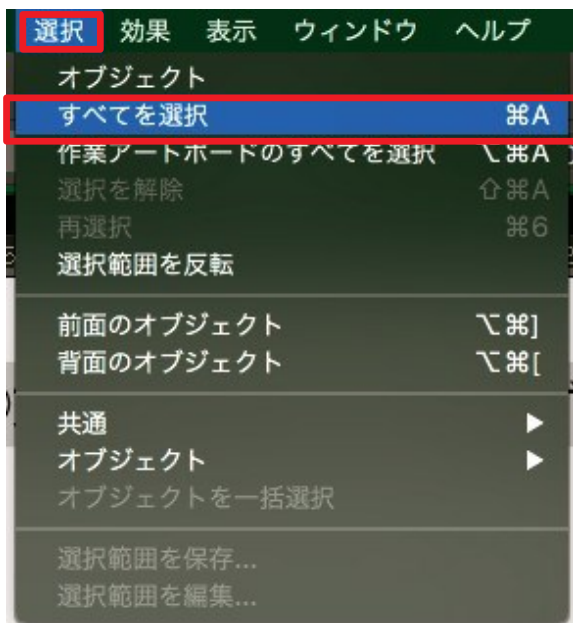


違うフォントに置き換わってしまいます

アウトライン

●文字のアウトライン化方法

※「全選択」→「アウトライン作成」を選択して文字のアウトライン化をして頂いて下さい。



アウトライン作成したデータの上書き保存後は、文字の編集ができませんので、アウトライン作成前のデータも別名保存しておきましょう。

●下記メニューで確認できます。



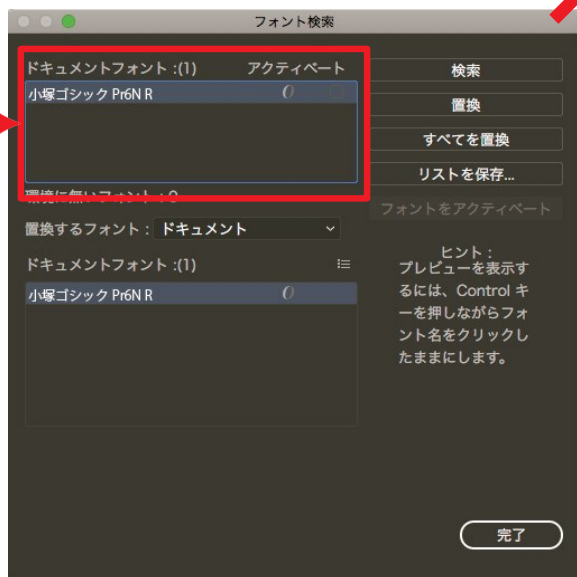
①「書式」メニューから
「フォント検索」を選択して下さい。

②「フォント検索ウィンドウ」が表示されます。

アウトラインされてない文字が存在する場合は、フォント名が表示されます。
アウトラインされている場合は、なにも表示されません。

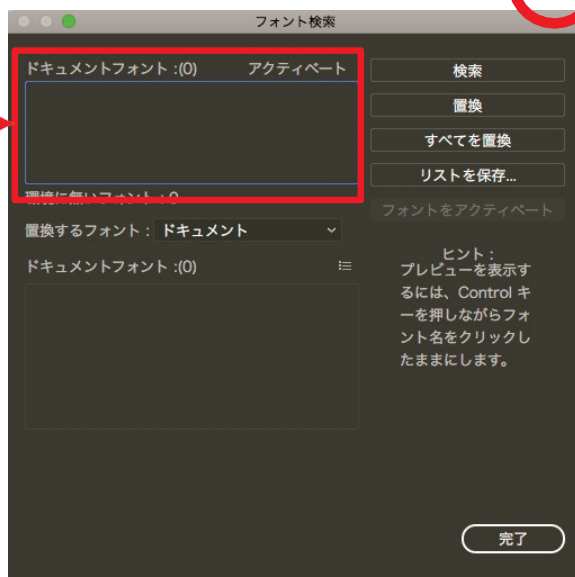
【アウトライン化していない場合】

フォント名が表示されます。✕



【アウトライン化している場合】

何も表示されません。○



② 配置画像の解像度について。

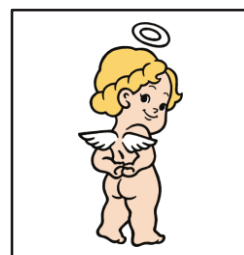
解像度は原寸サイズで300～350dpiで作成したものを配置して下さい。72dpiなどの低解像度の画像は、ガタガタとした粗い仕上がりになりますので印刷には適していません。

Web用の画像は72dpiです。

これはモニタ表示に最適な解像度ですので、インターネット上のキレイな画像を使用しても印刷時には粗くなります。



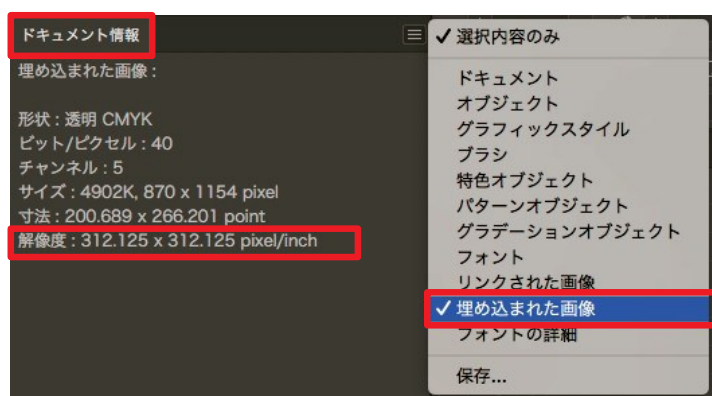
72dpi
Web用解像度



350dpi
印刷用解像度

※写真は解像度を比較する為のイメージです。

●Illustratorでの画像の解像度の確認方法



解像度を確認したい画像を選択した状態で「ドキュメント情報」パネルから「埋め込まれた画像」を選択すると画像の解像度を確認できます。

③ 配置画像を埋め込んで下さい。

イラストレータによる画像の配置方法は、「**リンク配置**」と「**埋め込み配置**」の2通りがあります。配置画像が消える等のトラブルを防ぐ為、「**埋め込み配置**」をして下さい。

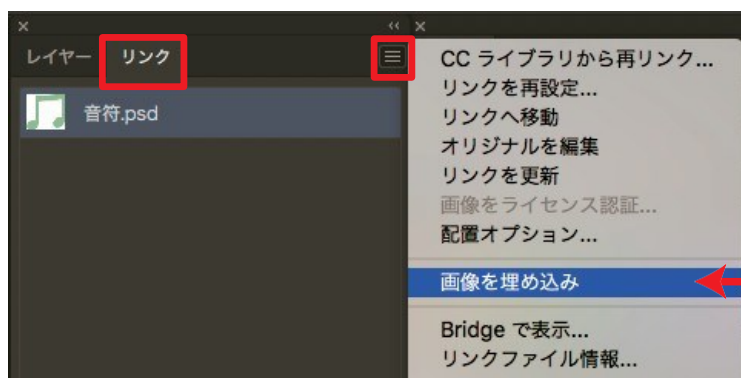
「**リンク配置**」とは…

元ファイルとなる画像ファイルを参照する事によりイラストレーターファイルの容量は小さくなります。しかし、画像ファイル名を変更したり、画像ファイルを別のフォルダに移動すると「リンク切れ」が起き、画面上で画像が表示されなくなります。印刷時も表示されませんので注意して下さい。

「**埋め込み配置**」とは…

イラストレーターファイルの容量が増えますが、イラストレーターファイルと画像ファイルが一体化するのでリンク切れの心配はありません。

●画像の埋め込み方法



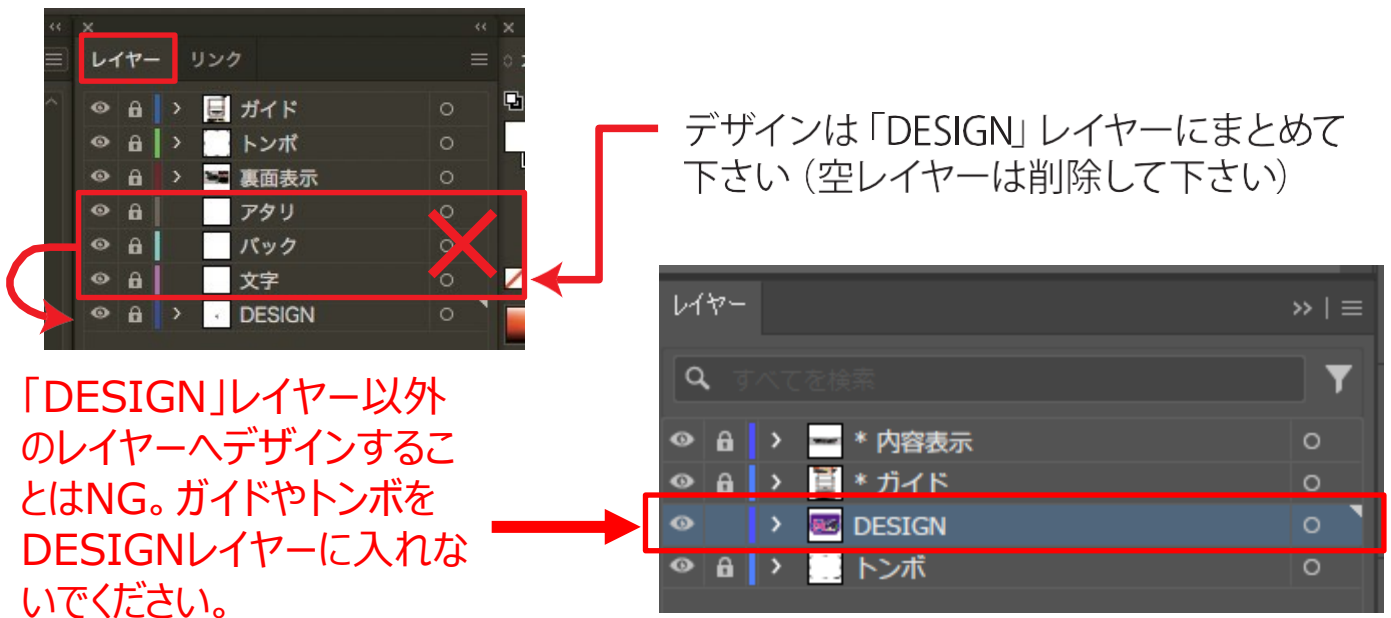
埋め込みたい画像を選択して、リンクパネルオプションから「画像を埋め込み」をして下さい。

●下記メニューで確認できます。

リンクパネルオプションでリンク切れマークが無いか確認して下さい。



④デザインは「DESIGN」レイヤー内にまとめて下さい。



⑤ 特色は使用しないで下さい。

スウォッチパネルに特色が使用されていないか確認して下さい。

「スウォッチオプション」からカラータイプを「プロセスカラー」に変更して下さい。

